



早稲田大学校友会宮崎県支部広報

「宮崎からの情報発信」

平成23年度を振り返って

宮崎県支部長 朽木 充嗣



東日本大震災3月11日の後、日本中の動きが、人命救助そして、復旧復興へと時間を費やして今日に至っています。早稲田大学も震災後すぐにその対応に追われすべての事業を凍結しました。大学の学生も各地の校友会も東北の支援にそ

それぞれの立場で協力しました。

宮崎においては、平成22年の口蹄疫、平成23年1月鳥インフルエンザ・新燃岳の噴火と経済活動を縮小する中で「これから宮崎の情報発信そして復興だ」という時期でした。

会報の発行

非常事態の中、以前より懸案であった、校友の住所を正確に把握し、支部会費の納入とそれに伴う活動報告を周知すべく会報を発刊しました。第1号を昨年6月に総会案内とともに送付し、今年の春季号第3号まで発行しました。広報担当の校友の尽力で発行できたことに感謝いたします。また、現在216名の支部会費納入があります。合わせて感謝いたします。

昨年7月には宮崎市で宮崎県支部の総会を開催いたしました。鎌田総長をはじめ本校より来賓をお迎えして肅々と開催をいたしました。

地域稲門会の活動もだんだんと軌道に乗ってきています。稲門女子会の活動、そしてたのもしいに若手を主体として稲門青年部が誕生しています。

校友会の縦と横の糸がうまく織りなして、素晴らしい校友会に育っています。今後さらに校友会を中心とした「絆」を強くし、新しい第一歩を踏み出してまいります。(S54・政経)

◎平成24年度の活動方針

- (平成24年6月1日～25年5月31日)
- ① 地域校友会の情報交換
- ② 九州ブロックの情報交換
- ③ 青年部・女子会の活動促進

◎平成24年度行動計画

- ① 延岡の総会開催(県北校友の掘り起こし)
- ② 九州ブロックへの参加(商議員・代議員・地域役員)
- ③ 年2回会報発行(7月・12月)
- ④ 支部会費納入の促進と校友会名簿の充実
- ⑤ 本部との連携(校友会費納入・サポーターズ募集・校友の発掘)
- ⑥ 早稲田大学在学学生との交流(稲門祭など)



「びくともせず」に風に立つ」



土地の有効活用をお考えのあなたに
高い入居率を誇る



しあわせ賃貸ネットワーク
Y&M ユーホームマンション をご提案いたします。

地域社会に貢献する企画提案型企业【ISO9001・ISO14001】認証取得

神崎建設工業(株)

代表取締役社長 神崎 義世 (昭和39年 政経卒)

- 本社 〒880-0832 宮崎市稗原町63番地1 TEL(0985)25-1233(代) FAX(0985)25-1240
URL <http://www.kanzaki.net> mail info@kanzaki.net
- 延岡営業所 TEL(0982)33-0858 FAX(0982)33-0877
- 日南営業所 TEL(0987)55-0019 FAX(0987)55-0020 ■ 関連会社 (株)カンエイ (不動産・賃貸管理)





早稲田大学校友会・宮崎県支部
平成 23 年度会計報告（案）

自 平成 23 年 7 月 1 日
至 平成 24 年 6 月 30 日

1 収入の部

単位：円

項目	金額	備考
前期繰入高	410,362	
負担金収入	343,000	総会・懇親会参加料 (校友 @ 6,000 円 × 48 人 父兄等 @ 5,000 円 × 8 人) 総会二次会参加料 (校友 @ 1,500 円 × 10 人)
補助金等収入	402,500	早稲田大学校友会組織強化補助金 322,500 円 早稲田大学商議員等補助金 80,000 円
寄付金等収入	151,910	会報広告掲載分ほか (内訳出納簿のとおり)
雑収入	12,059	預金利息ほか (内訳出納簿のとおり)
会報特会収入締高	367,200	支部会費収ほか (内訳出納簿のとおり)
合計	1,687,031	

2 支出の部

単位：円

項目	金額	備考
会議費	329,700 64,910 85,000	総会・懇親会 (7/16：宮崎観光ホテル、杉の子) 役員・商議員会 (7/16：宮崎観光ホテル) 役員会 (3/18：杉の子)
旅費交通費	118,000	幹事長会出張費ほか (内訳出納簿のとおり)
通信運搬費	53,540	総会案内郵送料ほか (内訳出納簿のとおり)
諸謝金	40,500	早大運動部合宿差入ほか (内訳出納簿のとおり)
負担金	20,000	六大学ゴルフ負担金
消耗品費	9,934	名刺代ほか (内訳出納簿のとおり)
雑費	4,638	振込手数料 (内訳出納簿のとおり)
会報特会操出金	220,400	会報郵送料ほか (内訳出納簿のとおり)
会報特会支出締高	135,600	会報印刷製本費ほか (内訳出納簿のとおり)
次期繰越高 (連結)	604,809	一般会計 373,209 円 + 会報特会 231,600 円
合計	1,687,031	

上記の会計報告については、年度終了後速やかに監事による監査を受けることとしています。
平成 24 年 6 月

宮崎 県支部 県会計幹事 蕪 美知保 (S60・法)

創業 65 周年。
感謝価格にて「住宅の省エネ塗装」をうけたまわります。



国土交通大臣許可 特定建設業 一般社団法人日本塗装工業会会員

本 社 / 宮崎市大字跡江 386-4 TEL 0985-47-3585 メール受付
福岡支店 / 福岡市博多区蒲田 2 丁目 1-4 TEL 092-503-9881 info@kuchiki.co.jp

くちき

検索

連載

ペンリレー *稲門女子会*

宮崎銀行証券国際部

日高 優子



友人の結婚式に出席（右より2人目）

2009年に早稲田大学教育学部を卒業し、あつという間に社会人4年目。今年の4月には初めての転勤を経験し、現在は宮崎銀行証券国際部で、働いています。

先日、大学時代の友人の結婚式に出席するため約2年ぶりに上京しました。羽田空港から見える東の東京スカイツリー、西の東京タワーは壮観でした。私は東京の変化を感じながら、友人との久しぶりの再会に少し緊張して会場に向かいました。しかし会った瞬間お互いに、「変わらないね！」の一

言。アットホームな披露宴の中、大学のメンバーと囲むテーブル席はとても居心地が良く、大学時代に戻ったようでした。そして卒業後もこんな風に集まり、友人の門出をお祝い出来ることが、大変嬉しくもありました。

卒業して宮崎に帰郷するとき、早稲田で多くの時間を一緒に過ごした友人たちとの別れが本当に寂しかったことを思い出します。実際に、今は別々の場所です生活しており、めったに会うことが出来なくなりました。そしてそれぞれ仕事で様々な経験をしていたり、結婚してお母さんになっていたりといろいろな変化もあります。それでも会えば昔のように、楽しい時間を共有することが出来るのだと実感した上京でした。私たちが大学で築いた関係は変わることなく、この早稲田の「つながり」はこれからもずっと続いていくのだと思います。

また宮崎に戻ってからは、大学によって新たな「つながり」が生まれました。様々な稲門会などでは本当に多くの方に出会うことが出来ました。普段お会いすることのない方々との語り場は大変楽しく、私にとって貴重な時間です。大学時代の、そして宮崎での二つの「つながり」を大切にしながら、宮崎で充実した日々を送れたらと思います。

(H21・教育)

第51回東京六大学ゴルフ大会

NEC宮崎支店長 渡辺 美穂



2012年4月8日(日)晴れ、微風。絶好のゴルフ日和の中、「第51回東京六大学ゴルフ大会」が開催されました。

8時40分の集合時間ながら、そこはラウンド前の常識。早めの到着後バターの練習。各メンバ、談笑しながらも、「優勝」の闘志が感じられる練習グリーン上でありました。

稲門会メンバは、プレー開始前に集合写真撮影。背中に早稲田大学の文字も頼もしい「鈴木宮崎市支部長」を中心にこやかに撮影終了。私は初参加ながら、OUTコース1組目でスタートを切ったのでした。

慶應の美原様、法政の川越様、立教の徳永様と蒼々たる御仁（このコース100回以上ラウンドされているのでは？）に囲まれ、「ボールに当たりますように！」と緊張の中プレー開始。しかし皆様のゴルフをこよなく愛され

ている感じが、実に快い空気を醸し出して、私自身は実に気持ちよくラウンドすることができました。（皆様、ありがとうございました）

ゴルフの楽しみは昼食時の会話も重要な要素です。今回は特に人生の先輩たちのいろいろな話を聞かせていただき、大いに楽しませてもらいました。おしゃべりに夢中になっていた私でしたが、回りを見回すと、各テーブル間で恒例のスコア確認とライバルへの牽制で盛り上がっています。すでに戦いは後半戦に突入していたのでした。

普段の運動不足のせいか、後半は少々バテ気味となり、スコアメイクに苦しみましたが、御歳79歳の慶應・美原大先輩の健脚ぶりに「慶應ボーイに負けてなるものぞ！」と踏みとどまり、最終ホールにて、お互いの健闘を称えた後、プレー終了。熱き戦いを終え、全員が無事クラブハウスに戻ってきたのでした。

結果は法政が優勝。早稲田は2位。悲喜こもごもの中、参加者全員の顔に「次回こそ優勝」と書いてあるように見えました。

私も、もう少しましなプレーができるよう、精進中です！秋の大会が待ち遠しい。

(S60・一文)

武井俊輔が語る

武井 俊輔



小泉進次郎青年局長といっしょに

並み居る先輩

私は昨年宮崎県議会議員を任期満了で退任し、現在自民党宮崎県第一選挙区支部長として次期衆議院選挙に向けて活動しております。

思い出しますのは5年前、私が東京を引き上げ県議会議員選挙の出馬に向けて活動を開始したとき、「杉の子」での稲門会にお声掛けいただき、初めて参加しました。

そのとき「演説をしなさい！」というところで、県議OBでもあられる吉元正憲先輩など並み居る先輩の前でお訴えをさせて頂きました。

その折、今は亡き伴野公則先輩（県支部幹事）にさまざまにアドバイスを頂きました。声の出し方、訴える内容、間の取り方……。

厳しいご意見もありましたが、その後の街頭活動などに大いにプラスになりました。今でも街頭に立ち続けていますが、たまに空を見上げて、今日の演説はどうですか？と聞きたくなることがあります。

このようにいつも多くの皆様に支えられて現在政治活動を続けさせて頂いております。

どう変革するか

さて政治状況ですが、政権与党である民主党はいうに及ばず私も自民党にも厳しいご意見を頂いております。橋下徹大阪市長率いる「大阪維新の会」への期待も強く、私たちも「既成政党」の枠の中で、どう変革するかが迫られております。

そんな中、2月5日、小泉進次郎自民党青年局長との合同演説会を開催し、雨の中、1,000人以上の方に越えし頂きました。その中で小泉局長も何度も「私たち自民党も変わらなければならぬ」と訴えられました。

まさに過去のしがらみを超えて、過去をしっかりと清算できるか、それが自民党に問われていることであり、私た

ち若い世代であるからこそそれができると信じて活動を続けております。

早稲田佐賀中・高校訪問

過日佐賀県唐津市の早稲田佐賀中学校・高等学校を訪問して参りました。これは統廃合で生じた県立高校の跡地を活用した学校なのですが、早稲田大学の校風もしっかり受け継いだ闊達な校風の中で教育されています。

唐津市の職員や住民の方にもお話しを伺いますが、早稲田大学の自由な校風が地域にもプラス作用を与えていることを実感致しました。

もちろん佐賀県は大隈重信公の出身地であり、誘地担当者の熱意などによ



理想の影は

り大都市福岡市ではなく唐津市に立地した要因になったと感じます。

このようなことが一足飛びに進むことは難しいのは承知しております。しかし千里の道も一歩からです。宮崎県におきましても、今後大学との連携、取り掛かりとして運動部のキャンプ誘致なども含め具体的な活動を私自身も今後大学に働きかけて参りたいと思っております。

大なる使命

さて稲門会の皆様と語らう中에서도多くの気づきを頂いております。

大学校歌の2番「大なる使命を担ひて立てる われらが行手は 窮り知らず やがても久遠の 理想の影はあまねく天下に 輝き布かん」

私自身も浪人中の厳しい日々ですが、この歌詞にはいつも勇気づけられております。

理想を高く掲げその中で現世を忘れず、その思いを貫きながら日々精進して臨んで参りますので、今後とも諸先輩方のご指導をよろしくお願い申し上げます。

(H17・大学院公共経営研究科)

ベビーフェイスと

早稲田ラグビー

(招待ラグビー早慶戦を終えて)

セントラル住宅(有) 代表取締役

村社 昭二



H24.5.20 森川護幹事長と後藤禎和監督

高校3年時の伝統の早明戦、大きな明治重戦車フォワードの攻撃に耐え続けた早稲田は、プロレス風にいえばベビーフェイス(善玉)であった。明治には強くてふてぶてしいヒール(悪役)役がとても似合った。自陣ゴール前に張り付けられても最後の一线だけは割らせず終了間際までなんとか6-10で粘る早稲田、ノーサイドまであと時間が無い。相手ミスで最後に転がり込んできたわずかなチャンス、左ライ

ン攻撃で順目にパスが繋がる、そこに右ウイングの位置から左サイドにポジショニングして荒馬の如く疾走してきたアニマル(猛獣)藤原優にラストパスが繋がった。藤原は地鳴りをあげながらゴールめがけ、三人の明治選手の手必殺タックルを受けながらも最後は左隅に豪快なダイビング・トライ、5メートルは飛んだだろうか?観客の歓声とともに同点となった。その時、私の早稲田への受験が決まった。



さて早慶戦である。去る5月20日目の杜運動公園で3度目の宮崎招待ラグビーがあった。結果は36-0の完封勝ち、スクラムで慶應フォワードをめぐりあげ、バックス攻撃は変幻自在、守備は堅く両者の実力差は予想外に大きかった。点差が広がらなかったのは雨でノックンが多く試合が分断された為であろう。残念ながら慶應はベビーフェイスになりきれなかった。早稲田がヒール役をわきまえずアルティメット・クラッシュしたため慶應が全く光らなかつたからだ。ベビーフェイスのお手本は昔の力道山である。強い外人レスラーの反則すれすれの技を受けながらロープを背に必死に耐えるも、最後はお約束の「伝家の宝刀」空手チョップで相手をなぎ倒し観客を沸かせる芸



雨の中キックオフ前の表彰

当を持たねばならないが、慶應サイドにその見せ場がなく試合は消化不良で終わった。試合後両チームの懇親会があり、今回初めて出席させてもらった。今年監督が後藤禎和氏に変わった。彼は早稲田を復活させてくれた清宮克幸元監督と同期で、背丈が190センチ程もある強面のロックでヒール役としては最高だが、実際は礼儀正しい謙虚な好青年だった。彼は私に言った。「今は体を大きくして体幹を強くしています。粘り強く守って最後はバックス勝負、早稲田らしく勝ちますよ。」

お詫び

「三名 窯」



本日、「社へ」春季号をいただきました。ありがとうございました。
このような立派な校友会報に掲載していただきまして、重ねてお礼申し上げます。心配しておりました写真も巧くレイアウトしていただき、安心いたしました。
ただ「窯」の字が「釜」となっておりました。とり急ぎ、お知らせ申し上げます。
製陶業 松形 三枝子

今、リング上の赤コーナーには大学選手権三連覇中の強い王者・キラード京がチャンピオンベルトを腰に巻いて仁王立ちをしている。一方青コーナーには挑戦者・アラブル早稲田がえんじのガウンを早くも脱いで臨戦態勢、今や遅しと開始のゴングを待っている。彼は観客の期待を十分にわかつている。ヒールでは手加減のできない下手な三文役者でも、ベビーフェイスになると天下無比の才能を持つ役者なのだ。きっと何かが起きる。秋のシーズに今からワクワクしている。
(S 57・法)



椎葉について

著述業 尾崎 哲夫



県境不土野峠
(熊本県側から登る。写真右 筆者)

あこがれの椎葉

宮崎に来て以来、美しい大自然と平家伝説で有名な椎葉について、時折、耳にすることがありました。椎葉出身の方にお会いすると、人柄の良い方が多く、そういう面からも興味を持っていました。校友のM氏から、一緒に椎葉に行かないか、というお誘いがあり、わたり船で連れて行ってもらうことにしました。実は、M氏は椎葉の尾向小学校に勤務し、椎葉の人々に深い印象を与え、今でも友人を維持しているのです。

椎葉に行くまで、市房ダムの桜の花見を楽しんだり、M氏の奥様手製のお弁当をいただいたりしました。やがて椎葉に到着し、鶴富屋敷とそれに隣接する博物館を訪れました。鶴富姫と言

る歴史的な人物です。鶴富姫を中心に数百人が椎葉の村に逃げてきたとされているのです。

夢のような歓待

やがて夕刻になり私たちを歓迎する宴が用意されている小屋に行きました。そこには囲炉裏がセットされ、ヤマメ、猪肉、山菜等が食べきれないほど準備されていました。もちろん、お酒や焼酎もありました。そこで、椎葉村の元教育委員長、村商工会長、猪狩名人などを交えて夜が更けるまで酒食を楽しみました。まさに、椎葉村特有のおもてなしの心そのままに、大変なご馳走が続きました。これこそ、椎葉の大きな特徴である、外部の人への歓待の精神です。



市房ダムの桜



囲炉裏の火

その晩は、民宿「又二」^{またいち}に泊まることになっており、「又二」の客間に上がると、そこにはまた豪華な宴会セットが用意されていました。とても食べ切れませんでした。ぐっすり眠った翌日、湯前温泉で一風呂浴びた後、宮崎に戻りました。

おもてなしの心

椎葉の特長は、人々の人柄の誠実さとおもてなしの精神の2つだと思えます。第1の誠実な人柄というのは、相互の助け合いによって生活が営まれる山間部での生活によって培われた山の民の精神だと思えます。従来、農耕や建築がなされる場合、近隣の人々が助け合うのは当然のこととされ、無報酬の相互扶助の精神が培われてきました。

た。嘘や不正が許されない濃密な人間関係の中で、平家の末裔だと言うプライドもあり、誠実に生活を営むことが伝統とされてきました。

もう一つの特徴のおもてなしの精神は第1の特徴である、助け合いの精神とも密接に繋がりが他人への誠実な対応の心だと思えます。自分達が平家の子孫だと言う意識は、親から子供へ子から孫への口伝によって営々と培われてきたものです。自分達の高貴な心を訪れた人々に示すために、できる限りの歓待をするという伝統が培われてきたようです。たとえ豊かでも自分達が出る限りの応接をして、他人に尽くすという椎葉独特の美しいおもてなしの精神が存在すると思われれます。

深刻な問題

もちろん、都会から遠く離れた山里である椎葉には人口がじわじわ減っていく限界集落としての深刻な問題が横たわっています。人々は若者がどんどん村を離れていくという問題を抱えながらも何とか椎葉の伝統を守りつつ、生活を維持しようとする努力が続いています。

椎葉を訪れて、平家の歴史、嘘のない誠実な生活、おもてなしの心、限界集落の深刻な問題点等々様々なことを考えさせられました。(S51・法)

「嫌煙」のススメ

システム工房まなび(株)代表

萩原 重憲



タバコとの付き合い

私とタバコとの付き合いは、18歳から60歳までの42年間に及ぶものでした。喫煙量は平均して1日にマイルドセブンを1〜2箱といったところでした。途中、1回だけ禁煙を試みたことがありましたが、3ヶ月で見事に挫折。以来、妻の苦言を聞き流しながらタバコとの懇ろな関係が続けておりました。

見せ物小屋の猿

平成23年3月末をもって定年退職して、1日の大方の時間を自宅で過ごすこととなりました。早速困ったのが喫煙場所でした。数年前孫ができてから、室内での喫煙は厳禁となり、さらし縁が喫煙場所になりました。現職中は朝と夕方以降の何本かを吸うための場所でしたので気にはなりませんでしたが、丸1日となるとそうはいきません。平均40分間隔で1日20回以上さらし縁に座ることになります。

我が家の前の道路はスーパーへ通じる裏道となつていこともあって、近所の人たちがよく通ります。1日に何回も見かける顔もあります。毎日40分間隔でさらし縁に3分間登場。私は見せ物小屋の猿でした。

なぜ、こんなにしてまで、タバコを吸わなければならぬのか。行動のすべてがタバコ中心、朝起きてまずタバコ、駅や空港で必死に探す喫煙所、咳き込みながら吸うタバコ、食欲不振・・・。すべては、タバコのため、あるいはニコチンの奴隷だからではないのか。私がタバコを好きなのではなく、私がタバコに支配されているだけではないのか。

決別の日

こうして、私のタバコに対する嫌悪感は日々増幅されていき、タバコとの決別を妻へ告げる日を迎えました。妻は半信半疑でしたが、私には禁煙という力みはなく、嫌煙宣言とでも言うべきものでした。禁煙とは好きなタバコを絶つことですが、嫌煙とは嫌いなタバコと別れることだから。

嫌いなタバコと別れるとは言うっても、長年の腐れ縁ですので、ニコチン中毒が厄介です。禁断症状として起こる焦燥感や無気力感などへの対応が必要になります。そこで、医者と薬に頼



椎葉の厳島神社

飴玉しゃぶり

ることにしました。医者を立会人として、「チャンピックス」というニコチン依存抑制剤を服用することとしました。

おかげで、ニコチンの禁断症状に見舞われることもなく、治療期間の3ヶ月を無事終了することができました。ただ、習慣病としての口寂しさは頑固に残り、飴玉を絶えず舐めていたため、食欲不振に陥り、妻の失笑を買った時期もありましたが、この飴玉依存症も5ヶ月目当たりで克服することができました。

現在、嫌煙7ヶ月を経過しようとしています。タバコ吸飲の誘惑は何年も続くと言われていますが、私はその誘惑には負けないという妙な自信を持っています。なぜならば、私は禁煙をしているのではなく、嫌煙をしているのですから。(S50・6月教育国文科中退)

すっきりと、ふくよかな味わい。



冬虫夏草酒
金霧島

古来より健康に役立つと珍重されてきた「冬虫夏草」と、美味しさを極めた本格焼酎「黒霧島」の幸せな出会いから誕生した「金霧島」。よりマイルドな口当たりと「冬虫夏草」由来の深いコクが、お楽しみいただけます。美味しく飲んで、すこやかに。



冬虫夏草

霧島酒造株式会社

霧島通販蔵

www.kirishima-product.com

通話料無料 ☎ 0800-123-1574

受付時間10:00~17:00 (土・日・祝日を除く)

◎お酒は20歳になってから。◎飲酒運転は法律で禁じられています。

校友からの一言

「街頭でアハ体験」

宮崎日日新聞社常務取締役

勝部 一之



毎朝歩くのが日課です。十分間千二百歩のペースで一時間ほど。「早足で休憩なしがメタボに効く」と始めたのですが、効用はそれだけではありません。日替わりコースで街角ウォーキングが楽しめます。大淀川の堤防は景色と爽快さで一番。朝のニシタチは宴の後、カラスの襲撃で生ゴミが散らかり放題です。「あそこに新築、隣は空き地」「向こうに新装開店」などと観察しているうちにもう自宅前。宮崎の街は変わり映えないようですが、実はあちこちで少しずつ変わっていくのが分かります。これこそリアルなアハ体験！

(S49・政経)

「最近のこと」

時任 輝忠



大学を卒業して59年になりました。若い頃は宮崎稲門会にも参加し、お世話になりました。都城稲門会も早慶戦の2回戦の夜は会合をもち盛り、数年続きました。最近は何をとり参加出来ずご無沙汰しています。

私は現在上東地区高齢者会長としており、毎月の定例会、月5回のグラウンドゴルフなどを行っています。又地区を流れる川をきれいにする柳河原川クリーン会(30名)の会長をし、ボランティアで堤防の草刈りなどを行っています。宮崎稲門会も若い方々で盛り上げていただきますようお願い致します。

(S28・第一理工)

「交流の機会」

キリンビール株式会社 宮崎支社

名郷根 宗



多くの先輩方がいる中大変恐縮ではございますが、若手校友の交流について書かせて頂きます。私が校友会に所属し、早いもので2年近くになります。その間、若手校友との交流は同じ職場の先輩しか知らず交流する機会はありませんでした。しかし、昨年の校友会忘年会から交流する機会が増え、最近

では5月中旬に20代〜30代による若手校友の交流会が開催され総勢30名の方々と有意義な時間を過ごさせていただきました。今後も若手らしく活発に交流をさせていただければ幸いです。もちろん、片手にはキリンビールを持ちながらですが。

(H21・社会)

「少しの想像力と行動」

宮崎大学教育文化学部准教授

戸ヶ崎 泰子



トリガー式のハチの巣駆除剤を購入した。このタイプの薬剤の使いやすさに感嘆しつつ考えたことがある。それは、運動機能が低下している方でも使いやすいユニバーサルデザインの道具やバリアフリーの施設や設備を見ることが多くなったということだ。全ての人が快適に生きる共生社会実現の取り組みが進んでいることは喜ばしいことだ。一方で、健康な人がスーパー等の身体障害者や高齢者のための駐車スペースを利用しての事実もある。誰しも入口に近い所に駐車したいだろうが、本当に必要な人が来るかもしれないという少しの想像力と行動が、真の

共生社会の創造には不可欠である。自分の行動を今一度省みようと思った。

(H4・人間科学)

「日々思うこと」

濱田論法律事務所 弁護士

濱田 諭



弁護士の数は一昔前に比べると随分増えましたが、近寄りがたい、怖い、相談しづらいというマイナスのイメージを持たれている方が未だに多いようです。これは我々の業界(私を含めて)が弁護士という存在・仕事内容を一般の方にアピールすることを怠ってきたからではないでしょうか。

本来、弁護士に相談しさえすれば救われる人が弁護士にアクセスしやすくなるよう、我々の業界、弁護士個人が自らの存在・仕事内容を積極的にアピールし、一般の方が持たれているマイナスのイメージを払拭していくことが極めて重要です。そのことが法の支配を社会の隅々に行き渡らせていく最初の一步なのですから。

(H8・法)

「花見の会」

福島 實



「杜へ」のお誘いを受け、四月一日好天下花見に参加。高岡は通りがかりに見るだけであったが、今年はずっかり弁当（杉の子）持ちで本格的であった。時間が経つにつれて花も一層きれいとなり、天ヶ城は最高。

校友も集い、花見って良いものだと思った。

振り返れば、小林では「軍馬の桜」で毎年宮崎からも列車が出ていた。昭和二十年代の話だが、その後、早稲田にすすんで上野や滝野川に誘われ、花見か飲み方かの学生時代をすぎ、卒業後は大勢で出かける事少なく、久し振りに好い想いをさせて頂いたと感謝。どうか、又誘って下さい。

(S 31・政経)

「祝・青年部設立」

宮崎県財政課 副主幹

篠原 俊尚



私が早稲田を卒業したのは平成5年3月。宮崎県庁に入庁してからまもなく、支部の集まりも出席させてもらうようになりました。当時から若手の参加者が少ない状況が続いていましたので、「平成元年卒以降の集まりをしよう」と、数年前に周囲に話をしていたところでした。そして、この度の青年部設立、おめでとうございます。しかし、残念ながら私は今年で42歳。40歳以下の条件から外れてしまっているのです。女子会もあって、青年部もできて、なんか悔しいので、次は私たちの年代の部を設立する番ですね！

(H 5・社会学)

「礼儀を正すべし」

喜多 三行



大隈講堂で入学式。演壇の式次第に校歌斉唱の項目がある。都の西北のイントロが奏されると全員は練習なしで声を揃えて歌う。著名な校歌なるが故のことで、他の学校とは違う。

田中穂積総長の自由と紳士教育訓示には感銘するのみであった。昭和17年4月18日、東京初空襲、戸塚一丁目の陶器研究所屋上に海軍陸戦隊が常駐し、米機に機関銃を打った。大隈講堂

付近に焼夷弾が落ちていた（不発）。

斉藤金作教授の刑法講義（応報刑主義）には心酔する。先生の美人賞賛の四字熟語「明眸皓齒、蛾眉嬋娟」は面白いユーモアであった。私は之に容姿端麗 才色兼備 羞花閉月を付け加える。安兵衛風呂、岡安質店、全線座（洋画）、高田牧舎等は懐かしい。ミリタリズム（軍国主義）酣の時代、大隈講堂の前で自由とインテリジェンスを謳歌した。学徒出陣。戦地から九死に一生を得て帰還。浮世の辛酸をながめて齢数え90歳。高齢に間違いなし。ひとつ軍人は礼儀を正しくすべし。

(S 18・専門部(法))

「日並皇子」

大貫簡易郵便局 白井 正



万葉集に、日並皇子と軽皇子の歌がある。夭逝した日並皇子の挽歌で格調が高く雄大で実にいい歌だ。「ひむがしの」で始まる。

四月に東京で友と会って一晩飲んだ。彼は延岡高校が甲子園に出た時の選手で、でも実に下手な選手で親の反対も聞かず三年間続け、そして現役で本学の政経（S五十二年）に受かった秀才であった。その名前が日並哲郎な

のである。今は旭化成に勤めていて千葉に住んでいる。

「もしかすると、日並皇子は天皇になっていたのにナー」と、好きな万葉集をさかなに楽しい一夜を過ごしたのである。

(S 48・商)

「母の味はパンの味」

宮崎県市町村課主事 濱砂 美智子



「三つ子の魂百まで」と言いますが、我が子の舌も、私がせつせと作るパンの味を覚えていてくれるのでしょうか？

娘が8ヶ月になった頃、パン教室に通い始めました。おんぶをしながら2時間、生地をこねて発酵させ、成形して焼く。かなりの重労働です（笑）。そんな苦勞も、かわいい指でつまんでばくばくと食べてくれる姿で吹き飛んでしまい、パン作りに夢中になってしまいました。

出産、育児を経験して実感したのは、良い食事が健康と豊かな心をつくること。食育という堅苦しいですが、素朴な手作りパンを母の味として伝えていきたいです。

(H 14・法)

「ひさしぶりだね」

オズテック代表 尾崎 恒夫



昨年校友会宮崎県支部に入会しました尾崎です。卒業後、横浜でプラント設計の仕事をして十年行い、理由あって宮崎に戻ったのは二十五年前でした。都城で某乳業会社を二十三年経て、食品機械の設計、設備コンサルタントの個人事業を四年前に開始しました。延岡出身ではありますが、都城の自然あふれる環境で今年還暦を迎えました。ひさしぶりに、五月に理工学部の特ニ部で同期だった丁氏が都城まで訪れてくれ、昔話に楽しい時間を過ごすことができました。まさに三十五年ぶりの再会であり、当時の学生時代に想いを馳せた一日でした。

(S1・理工)

「最高の日和」

元高岡町長 吉元 正憲



時の流れは速いもので、既に4月も半ばを過ぎようとしている。

天ヶ城公園での桜見は最高の日和に恵まれ、花見の会に参加してくれた皆さんは、満足されたことでしょうか。

若い女性も加わり賑やかな顔ぶれだったので、安心しました。

皆さんとゆっくり合流できなく、心残りでした。

稲門会には人は多い。しかし優雅な企画に賛同してくれる仲間は大いにしたいものです。皆さんきつと好い思い出になるだろう！

私は恒例になっている仲間が、年一度の出会いの場を設け同時刻に別座を構え、さくら吹雪の中でビールをかたむけ野趣の赴くままに腕自慢のシェフが自前の料理を提供してくれた。また稲門会で会いましょう。

(S41・政経)



コブクロの「桜」を歌う

「吉村作治の古代七つの文明展」 ～人と地球と太陽の船～

宮崎県総合博物館 学芸課長 石川 悦雄

「文明とはなにか」、「人は何のために生きるのか」といった根源的な問いかけに向かい合うという趣旨に沿って、独自の社会・文化・世界観を持つ七つの文明（エジプト、オリエント、ギリシャ・ローマ、シルクロード・インド、中国、中南米、縄文）が育んだ優れた遺産、約230点を展示します。

いずれ劣らぬ優品、中でもエジプトの「死者の書」、オリエントのガラス製品、ガンダーラの仏像などは見応えがあります。また、エクアドルのペッカー土偶など思わず微笑みたくなるような楽しい土の造形にも出会うことができるでしょう。

さらに、国宝の火焰型土器（新潟県十日町市博物館蔵）が宮崎では初めて展示されます。また、「トキのミイラ」（エジプト文明・個人蔵）は世界初公開で必見。その他にもレプリカとはいえ世界の至宝であるロゼッタ・ストーンとハムラビ法典の二つを同時に見ることができるのは、この展覧会だけの醍醐味です。

会期：2012年7月14日(土)～9月2日(日)

会場：宮崎県総合博物館

入場料：大人 1,000円 (800円)

小中高生 600円 (400円)

※()は20人以上の団体

吉村作治先生トークショー＆サイン会

(各回とも100名(先着順))

会場：宮崎県総合博物館研修室

日時：7月14日(土) … 午後2時

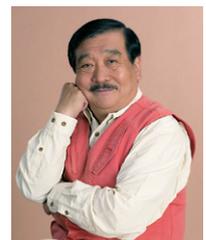
7月15日(日)

… 午前11時 / 午後2時

8月10日(金) … 午後2時

8月11日(土)

… 午前11時 / 午後2時



(早稲田大学名誉教授)

※問い合わせ先：☎0985-24-2071

「天ヶ城公園の花見の会」

鷺澤 胤博



高校生も飛び入り参加しました。

春爛漫、空はクッキリと晴れ上がった四月一日。校友会有志による花見の会開催。会場は宮崎市郊外高岡町の桜の名所「天ヶ城公園」。朝九時半頃、郷土料理店「杉の子」に集合し予約していたジャンボタクシーと校友の車に分乗し出発（総勢男女二十名、県支部長、幹事長他校友十一名、その友人六名、杉の子三名）。時あたかも桜祭りの日、早い時間にも拘らず、広い駐車場は次々に訪れる人々の車でドンドン埋まってしまふ。公園頂上の町の中心

部やゆったりと流れる大淀川を眼下に見晴せる絶好の場所を確保。十時過ぎに宴会開始となった。

杉の子さんが腕に縊りをかけた春の旬の食材たっぷりの特製弁当。福田氏自家製の海藻漬物、饅頭、大福、ダンコ。元高岡町長吉元氏から頂いた地元の名菓「長饅頭」。参加者差し入れの洋菓子。どれも美味な事最高だった。これら食材に舌鼓みを打ちながら、初顔の人もいたのでユーモア溢れる自己紹介。沢山の酒類で酔が廻った頃、歌も始まる。「都の西北」は公衆の中なので避け、第二校歌の「人生劇場」を歌った。学生時代はうろ覚えだった歌の間のセリフ口上は印刷物が用意され、青成飄吉や吉良の仁吉を偲びながら発声が出来たと思われる。また若山牧水の流れを受け継ぐ者として、この満開の桜の下で短歌、俳句を即興で作成し発表し合った。流石に平安末期の歌人西行の「願はくは花のもとにて春死なむ、そのささらぎの望月の頃」を超える名作は出来なかったが、迷作多数、帰りの車中で女性達から「さすが早稲田、アカデミック！」とお世辞を含む賞賛の一言を頂いた。森山直太郎の「さくら」、コブクロの「桜」も歌い合った。記念撮影を面白おかしく済ませ、来年の開催を誓い合い、和やかな会は幕が降りた。

(S 43・政経)

5・17 森松平校友 「食とツーリズム」の講義 (寄附公開講座)



「食と観光」について熱く語る森松平校友

平成 24 年 5 月 17 日（木）、早稲田大学商学部 11 号館 505 教室で本県商議員の森松平さんが「食と観光」について講義をしました。11 号館は 2010 年、創立 125 周年の記念事業として、200 億円の寄附を基に建設された 12 階建のビルです。

当講義は、商学学術院の長谷川恵一教授が担当されている「ツーリズム産業論」の授業の一環として、(社)日本観光振興協会の支援で開催されました。

午後 4 時 30 分から始まった講義には、300 名を超える学生が受講しました。講義の冒頭カツオ漁の VTR が流れ、宮崎弁を交えた語りかけるような森校友の熱心な講義に、中には居眠りする学生もいましたが、ほぼ全員手渡された資料に目をやりながら聴き入っていました。

授業が始まる前に一人の学生に声をかけました。この 4 月に一橋大学に入学したばかりの前田君という学生で「自宅へ帰る途中で早稲田があるので、講義の内容が興味深かったので、受講しようと思いました。」と語ってくれました。

講義は、概ね次のような内容でした。

「宮崎は食材について、他県にはない優れたものがあるのに売り出し方が稚拙。宮崎観光の父岩切章太郎侯は「香りの宮崎 花の宮崎」は創り上げたが、「食の宮崎」には及ばなかった。観光浮揚には「食」は不可欠。宮崎ならではの食といえば、カツオ。カツオに関して、日本の漁獲高は約 30 万トン。その内、宮崎は近海のもの 3 万トンを取っている。「鯨の国」で有名な高知県が特産カツオを自負し、みんなそう思っている。冗談じゃない。宮崎が本場だと声を出して叫びたい。私の原点は、生まれ故郷の枕崎、商売をしている宮崎、そして私の心のふるさと早稲田にある。もっと宮崎を広めたい。

宮崎の「近海カツオ 1 本釣り日本一」の誇るべき成果をもっと宣伝し、他県にはない食材を使った「食」を通して経済浮揚を図り、観光立県の再生に貢献していきたい。」その力つよい言葉に学生の目が輝き、納得の拍手が打たれた。前田君に感想を訊くと、「教授の机上の講義では得られない、地元の実状を知っている方の、生の雄叫びのような講義に引き付けられました。宮崎に行ってみたいと思いました。」とコメントしてくれました。

*一橋の前田健次郎君
ありがとう。



300 名の学生で埋まった 505 教室

平成 24 年度 支部会費納入のお願い

宮崎県内の校友の皆様、日々ご清勝のこととお慶び申し上げます。また、平素より当宮崎県支部に対しご協力とご支援を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、平成 24 年度の会費納入につきまして校友各位のご理解とご協力を御願いたします。

記

納入方法

- ① 払込取扱票にて払込（別紙）
- ② 金額 2,000 円（年額）
- ③ 振込先 ゆうちょ銀行
（口座記号番号 1790 - 8 - 70909）

※同封の払込取扱票で払込みください。

平成 24 年度 早稲田大学校友会宮崎県支部総会

と き

平成 24 年 7 月 22 日（日）

ないよう

支部役員会	12:30 ~ 13:00
商議員懇談会(昼食)	13:00 ~ 14:00
支部総会	14:30 ~ 15:20
講演	15:30 ~ 17:30

◆早稲田大学理事

宮内孝和「いま伝えたい、早稲田の力」

◆早稲田大学教授

山本 研「事業再生の法システム」

交流会 17:40 ~ 19:30

会費 校友 6,000 円 一般 5,000 円

と ころ

ホテルメリージュ延岡

延岡市紺屋町 1-4-28

電話 0982-32-6106

JR 延岡駅より徒歩 10 分、タクシー 5 分

問い合わせ先：延岡稲門会幹事長

市園清貴 ☎090-1362-7330

Coffee Break

「まだ学生であった柳田國男先生は、明治三十年の夏、伊良湖岬を訪れ、一ヶ月程逗留された。

この間、恋路ヶ浜を散策中に浜に流れ着いた椰子の実を見つけられた。滞在中のことを親友の島崎藤村に語り、話の面白さに詩想を刺激せられた藤村は、「椰子の実」を練り上げられたという逸話は有名である。

柳田先生は、昭和二十七年に上梓された「海上の道」で次のように述べられている。

「風のやや強かった朝などに、椰子の実の流れ寄っていたのを、三度まで見たことがある。一つは割れて真白な果肉の露われ居るもの、他の二つは皮に包まれているもので、どの辺の沖の小島から海に泛んだものかは今でも判らぬ。ともかく遙かな波路を越えて、まだ新しい姿でこんな浜辺まで、渡っていることが私には大きな驚きであった。この話を東京に還ってきて、島崎藤村君にしたことが私にはよい記念である。」

今では、海岸や砂浜を歩けば、投擲された日用品のペットボトル、靴、スリッパなど雑多な漂着ゴミを踏んでしまう環境変化である。それでも、遠き島に見たてた石垣島から、伊良湖岬に流れ着くことを願い、黒潮にのせて



梅雨明けを待つ波状岩

椰子の実を流すイベントが開かれている。夢のある話である。

実をとりて 胸にあつれば 新なり流離の憂い
海の日 沈むを見れば 激り落つ 異郷の涙
思いやる 八重の汐々 いずれの日にか 国に帰らん

雨雲に蔽われているが、梅雨明けは近い。

校友の皆さん、あの輝ける真夏の、黒潮の遙かな轟きを想いお元気でいてください。(F)